

お客様 各位

2024年10月25日
株式会社ディー・ディー・エス

ThemisのサーバーOS対応状況について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
万能認証基盤 Themis (以降、Themisと記述)のThemisサーバーおよびAnsibleサーバーが利用するOSのサポート状況、および弊社の対応について、ご案内いたします。

1. Themisが利用するサーバーOSについて

Themisのバージョンには以下に示すとおり、バージョン1系とバージョン2系、および2024年12月末にリリースを予定しているバージョン3系があり、Themis/Ansibleサーバーの利用するOSが異なっております。

Themisのバージョン	リリース/予定月	サーバー利用OS
バージョン1系 (1.3.0～1.23.1)	2019年3月～2023年5月	Red Hat Enterprise Linux 7.9 CentOS 7.9
バージョン2系 (2.0.0～2.2.0(2024年8月現在))	2023年12月～	Ubuntu Server 22.04 LTS
バージョン3系 (3.0.0～)	2024年12月～	Red Hat Enterprise Linux 9 Ubuntu Server 22.04 LTS

2. Red Hat Enterprise Linux 7およびCentOS7について

バージョン1系が利用する、Red Hat Enterprise Linux 7は2024年6月30日にメンテナンスサポートの終了(EOM)を迎えており、同時にCentOS 7もサポートが終了(EOL)となっております。なお、Red Hat Enterprise Linux 7 については、Red Hat社が提供する延長ライフサイクルサポート (ELS) によって、最大で2028年6月30日までメンテナンスサポートの提供がされております。また、CentOS 7については、サードパーティにより同様の期間で延長サポートサービスが提供されております。

3. バージョン1系における弊社対応について

バージョン1系について弊社では、上記のRed Hat社およびサードパーティによるOSサポートの有無にかかわらず、OSの脆弱性などの場合を除いて、弊社製品固有のサポートを継続します。

D240580

また、クライアントOSに対するサポートも引き続き継続しており、本年リリースが予定されているWindows 11 24H2についても動作検証を実施し、製品対応とする予定であります。

なお、バージョン1系のクライアントOSの動作保証対象は本年リリースが予定されている24H2までを予定しており、そのサポート期間はMicrosoft社のポリシーに従ったものとなります。

4. 1系から2系および3系へのアップデートについて

1) 1系から2系へのアップデート

サーバーOSをUbuntu Serverへ変更いただく必要があります。同一サーバー機器(またはサーバーイメージ)内でのバージョンアップは不可能となり、新規でサーバー環境を構築いただき、データの移行を実施いただくこととなります。

2) 1系から3系へのアップデート

サーバーOSをRed Hat Enterprise Linux 9またはUbuntu Serverへ変更いただく必要があります。同一サーバー機器(またはサーバーイメージ)内でのバージョンアップは不可能となり、新規でサーバー環境を構築いただき、データの移行を実施いただくこととなります。

いずれの場合も個別の環境に依存しますので、実施の際は弊社営業までご相談いただきますようお願いいたします。なお、弊社にて導入支援を実施する場合、オンサイト/リモートのいずれの場合も有償対応となりますこと、あらかじめご了承ください。

以上

参考情報：

Red Hat Enterprise Linux 7 メンテナンスサポート終了について

<https://www.redhat.com/ja/technologies/linux-platforms/enterprise-linux/rhel-7-end-of-maintenance>

CentOS 7 のサードパーティによる延長サポートサービスについて

<https://www.cybertrust.co.jp/centos/support/centos7-extend-support.html>